

1 事例の概要

これまで本校は国語科の研究に取り組み、児童にも説明文や物語文の読み取り方は定着しつつある。しかし、思考力・判断力・表現力が高まっているかという観点に立てば、課題は多い。全国学力・学習状況調査、県基礎学力調査の結果からも、それは明らかになっている。また、調査結果からは、算数科においても、「活用する力の育成が望まれる」という結果が出ている。さらに分析を深めると、国語では「読み取ったことを書く」、算数では「自分の考えを説明する」という点において弱いことが見えてきた。

そこで、本校の研究テーマを「『活用力』を育てる授業づくり～国語科、算数科を通して～」として、授業改善に取り組むこととなった。「活用力」を育てるための授業改善として、以下に示す2つのことに留意して単元計画を立てて実践した。

①単元で捉えさせたい力を明確にする

(単元の目標の後に、「単元で捉えさせたい原理・原則」として、短くまとめたものを明記)

②中教審の「学習指導要領改善についての答申」に示された、思考力・判断力・表現力を育む学習活動の例①から⑥を参考にした学習活動を単元計画に組み込む

A-1 研究構想図

A-2 国語 学習活動の例

2 実践内容

(1) 単元の目標

- ・自動車図鑑を作るために必要な情報を収集し、いろいろな自動車の仕事や作りに興味を持ちながら読もうとする(関心・意欲・態度)
- ・三種類の自動車について、仕事と作りの関係を考えながら内容の全体を読むことができる。(読むこと)
- ・教材文を参考にして、好きな自動車の仕事と作りを説明する文を書くことができる。(書くこと)
- ・片仮名で書く語を読んだり書いたりできる。(言語事項)

(2) 指導上の工夫点

①単元で捉えさせたい原理・原則	二つの問いに対して、具体例によって二つの答えを述べる説明文の構成
②活用の基となる知識・技能の習得	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文の構成の規則性の捉え ・挿絵と文章を結び付けた読解 ・活用の場の前時に、文章を読み取って視写
③活用の場における学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵の読解の後、文章化 ☆挿絵と文を結びつけて丁寧に読み取る学習活動を活用して文章化する力につなげる。(学習活動分類④) ・ペアでの意見交流
④学習意欲を高める手だて	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールまでの学習活動の見通しを示す。

B-1 国語 単元計画

B-2 国語 ワークシート

3 指導の実際

学習活動	配時	児童の主な意識の流れ	○主な支援 ■評価
1. つかむ ・本時のめあてを確認する	5	・「どんなしごとをしていますか。」と「そのために、どんなつくりになっていますか。」が 問いかけ だよ。 ・今日は、はしご車の「しごと」と「つくり」をみつけるよ。	○問題提示文を振り返り、それに対する答えを見つけることを確認する。
はしご車の「しごと」と「つくり」をみつけて、ぶんをかこう。			
2. ふかめる ①はしご車の絵を見て「しごと」と「つくり」を話し合う	15	・はしご車の「しごと」は、火事の時、人を助けることだよ。 ・高い建物で、逃げおくれた人を助けることができるんだよ。 ・高いところに届くように、はしごが伸びるようになっているんだね。 ・逃げ遅れた人が乗れるように、かごみたいな物がはしごの先に付いているよ。 ・車体の下に、クレーン車みたいな支えが付いているよ。傾かないようにするためかな。	○挿絵や経験をもとに自由に発表させ、興味を持たせる。 ○絵と対応できるように、絵を掲示し引き出し線でつながりながら、板書にまとめる。
②「しごと」と「つくり」を説明する文を書く	20	・「しごと」の文の初めは はしご車は で、終わりは しごとをしています だね。 ・「しごと」と「つくり」をつなぐときは、 そのために を使うんだね。 ・「つくり」には、はしごのことを書こう。 ・「つくり」には、足のことを書こう。 ・人を乗せるかごのことを書こう。	○書き出せない子には、ヒントのことばが入ったワークシートを利用させる。 ○「つくり」がひとつ書けた児童には、もう一つ書くように声をかける ■はしご車の「しごと」と「つくり」の関係を理解し、「そのために」でつないで文を書いている

C-1 1年指導案

C-2 1年ワークシート

4 成果と課題

(1) 成果

- ・「活用力」をつける授業実践への教師の意識改革が進んだ。
- ・「活用力」を育てる授業づくりのために必要とされる、課題解決型の授業の流れが児童に定着しつつある。少しずつではあるが、児童の「活用力」が高まってきている。

(2) 課題

- ・児童に課題意識をもたせることにより、児童の学習意欲向上を図る。
- ・教師の課題解決型授業での指導力向上（単元でつけた力を明確にする単元構成力、単位時間の授業構成力、学び合いの中での意見を整理する力の向上）をめざしたい。
- ・児童が説明をするとき、相手意識を持たせ、分かりやすい文や図をかく力、伝わる話し方の系統的な指導を積んでいかねばならない。